



2019年8月8日

各位

上場会社名 堺化学工業株式会社  
 代表者 代表取締役社長 矢部 正昭  
 (コード番号 4078)  
 問合せ先責任者 取締役経営戦略本部長 中西 敦也  
 (TEL 072-223-4111)

## 業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ、2019年5月13日に公表しました2020年3月期第2四半期(累計)および通期の業績予想を下記の通り修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

### ● 業績予想の修正について

2020年3月期第2四半期(累計)連結業績予想数値の修正(2019年4月1日～2019年9月30日)

	売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益	1株当たり四半期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	47,000	3,100	3,100	2,100	124.99
今回修正予想(B)	45,000	2,700	2,700	1,800	107.14
増減額(B-A)	△2,000	△400	△400	△300	
増減率(%)	△4.3	△12.9	△12.9	△14.3	
(ご参考)前期第2四半期実績 (2019年3月期第2四半期)	43,747	2,328	2,412	1,528	87.67

2020年3月期通期連結業績予想数値の修正(2019年4月1日～2020年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	93,000	6,000	6,000	4,000	238.08
今回修正予想(B)	91,000	5,000	5,000	3,300	196.42
増減額(B-A)	△2,000	△1,000	△1,000	△700	
増減率(%)	△2.2	△16.7	△16.7	△17.5	
(ご参考)前期実績 (2019年3月期)	89,541	4,404	4,553	3,606	210.34

### 修正の理由

当社が属する電子材料市場は、中期的には通信市場における5G(第5世代移動通信システム)導入、自動車の電装化の進展などにより、依然として需要は拡大するものと予想されます。一方で、当第1四半期連結累計期間における売上高および利益は、米中貿易摩擦等により需要の不確実性が増す中、当初の見込みを下回る水準で推移しております。今後の見通しにつきましても、短期的には引き続き米中貿易摩擦等による景気減速の懸念が残り、電子機器の生産調整や電子部品の在庫調整による一時的な需要の減速が予想されます。このような状況のもと、2020年3月期第2四半期(累計)および通期の業績については、前回予想を下回る見込みとなりました。

(注)上記の業績予想につきましては、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであります。実際の業績は、今後様々な要因によって大きく異なる結果となる可能性があります。

以上